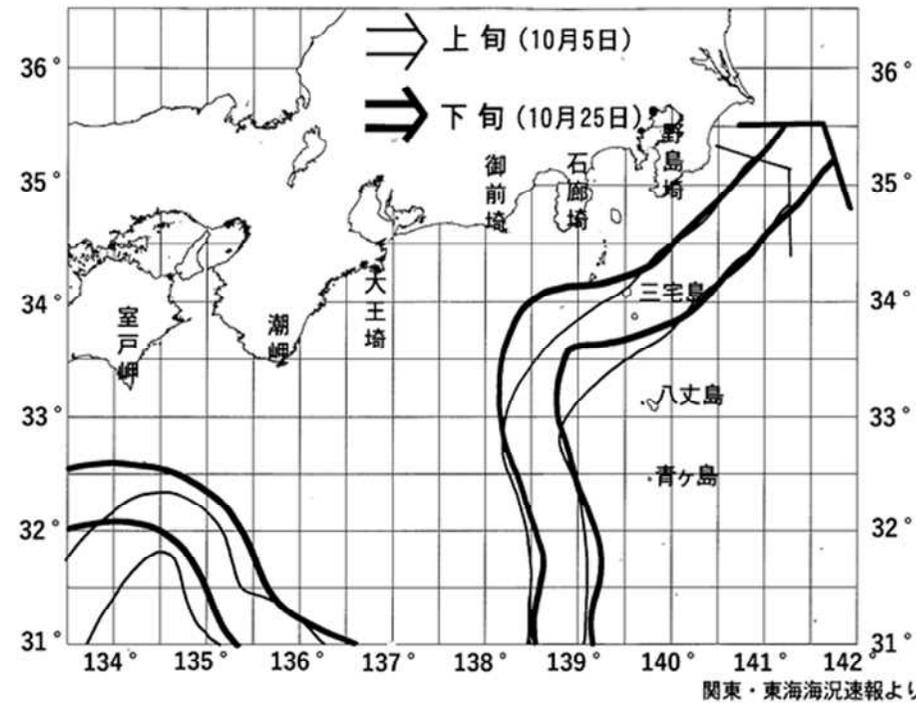


漁海況月報

令和5年10月1日

No. 10 ~10月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



10月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	24.7	25.0	24.3	25.1	24.5	23.9
	1.5	1.3	0.9	1.3	0.9	0.4
中旬	23.0	23.5	22.8	23.6	23.0	23.2
	0.8	0.6	0.2	0.6	0.1	0.6
下旬	22.2	22.3	21.5	22.6	22.1	22.5
	0.9	0.3	-0.1	0.6	0.3	0.9
月	23.3	23.6	22.9	23.7	23.2	23.2
	1.1	0.8	0.4	0.8	0.4	0.6

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

10月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は駿河湾沖まで、中旬~下旬は石廊崎沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から駿河湾沖33.0°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が駿河湾沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から石廊崎沖33.5°Nまで北上した後東北東に進み、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は焼津で「平年並み」、稲取、下田、雲見、沼津で「やや高め」、伊東で「高め」であった。中旬は下田、沼津で「平年並み」、伊東、稲取、雲見、焼津で「やや高め」であった。下旬は稲取、下田、沼津で「平年並み」、伊東、雲見、焼津で「やや高め」であった。

【竿釣カツオ】

10月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは59.2トンで前年同月(45.1トン)の1.3倍であった。平均単価は426円/kgで前年同月(580円/kg)を下回った。

漁場は34°N、138-139°Eの駿河湾沖などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長44cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年10月上旬	30.3	9	3.4	398
中旬	16.9	6	2.8	401
下旬	12.0	8	1.5	533
R5年10月計	59.2	23	2.6	426
R4年10月計	45.1	18	2.5	580
R3年10月計	115.2	35	3.3	298

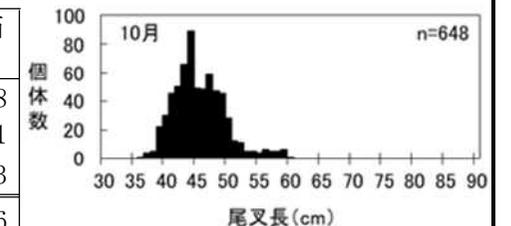


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は375.6トンで、前年(286.8トン)の1.3倍、平年(318.5トン)の1.2倍であった。また、1か統当たりの水揚げ量は62.6トン(前年:41.0トン、平年:45.5トン)であった。水揚げの多い漁場は、伊豆山漁場(131.8トン、ヤマトカマス、マアジ、さば類)、次いで北川漁場(91.1トン、ヤマトカマス、さば類、マルソウダ)であった。なお古網漁場については資源管理休業のため10月は操業がなかった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、ヤマトカマスは146.3トンで、前年比4.3倍、

前年比6.0倍であり、10月の水揚量としては1982年以降最も多かった。さば類は50.9トンで、前年比84%、前年比65%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.4トンで、前年比13%、前年比10%、ゴマサバは50.4トンで、前年比88%、前年比66%であった。さばっこ銘柄(マサバ、ゴマサバ当歳魚)は28.6トンで、前年比1.3倍、前年比3.8倍であった。マルソウダは45.3トンで、前年比1.2倍、前年比1.2倍であった。マアジは43.9トンで、前年比2.4倍、前年比1.8倍であった。カンパチは8.0トンで、前年比1.9倍、前年比2.6倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、ヤマトカマスでは伊豆山漁場が42%(60.9トン)、北川漁場が34%(49.6トン)、さば類では北川漁場が41%(20.8トン)、伊豆山漁場が26%(13.2トン)、富戸漁場が17%(8.5トン)、マルソウダでは北川漁場が28%(12.6トン)、谷津漁場が23%(10.4トン)、伊豆山漁場が19%(8.4トン)、マアジでは伊豆山漁場が62%(27.2トン)、谷津漁場が22%(9.5トン)、カンパチでは富戸漁場が41%(3.3トン)、赤沢漁場が33%(2.7トン)、伊豆山漁場が19%(1.5トン)であった。

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	前年比	主な漁場
ヤマトカマス	146.3	4.26	6.04	伊豆山、北川
さば類	50.9	0.84	0.65	北川、伊豆山、富戸
マルソウダ	45.3	1.16	1.18	北川、谷津、伊豆山
マアジ	43.9	2.38	1.80	伊豆山、谷津
カンパチ	8.0	1.85	2.60	富戸、赤沢、伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は上、中旬に大島千波で、下旬に大島千波および利島で形成された。水揚量はゴマサバ71トン(前年同月比1.0倍)であり、1隻当たり水揚量は4.8トン(前年同月比62%)であった。マサバの水揚げは無かった(前年同月水揚げ無し)。1kg当たり平均単価は156円と前月(163円)を下回り、前年同月(141円)を上回った。漁獲物の体長組成は、32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年10月上旬	-	1	2	2	-	0.6	-	222	大島千波
中旬	-	38	4	6	-	6.3	-	150	大島千波
下旬	-	32	5	7	-	4.6	-	160	大島千波、利島
R5年10月計	-	71	11	15	-	4.8	-	156	大島千波、利島
R4年10月計	-	69	7	9	-	7.7	-	141	ひょうたん瀬、三本
R3年10月計	-	101	6	9	-	10.1	-	137	大室出し

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。
*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【シラス船曳網】

県内6港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が49kg、駿河湾(吉田、用宗)が122kgであった。平均水揚量は93kgで前年同月(188kg)の49.5%、前年同月(過去5か年平均:221kg)の42.1%であった。また、総水揚量は80.3トンで前年同月(296.4トン)

の27.1%、前年同期(315.6トン)の25.4%で前年、前年を大きく下回った。平均単価は2,000円/kgで前年同月(1,156円/kg)の1.7倍、前年同月(880円/kg)の2.3倍で前年同月、前年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	0.5	5	21	22	1,515
	舞阪	6.8	7	176	39	1,992
	福田	2.3	5	74	32	2,313
	御前崎	7.0	8	71	99	1,523
駿河湾	吉田	35.1	10	259	135	1,756
	用宗	28.6	12	263	109	2,400
R5年10月計	80.3	47	864	93	2,000	
R4年10月計	296.4	77	1,578	188	1,156	
R3年10月計	453.8	78	1,749	259	686	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。
*前年:過去5か年(平成30~令和4年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、伊東港では18.0トン(前年水揚げなし、前年同月比36.2%)、沼津港では34.0トン(前年同月24.0倍、前年同月比68.1%)、静浦港、小川港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港のいずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統では、マイワシのみ1.7トンの水揚げがあり、カタクチイワシについては水揚げがなかった。

*前年:過去5か年(平成30~令和4年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

10月 2日 ~ 10月 4日	地先定線観測調査	(3日間)
10月 11日 ~ 10月 12日	サクラエビ音響調査	(2日間)
10月 17日 ~ 10月 18日	さば類音響調査	(2日間)
10月 19日 ~ 10月 20日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
10月 23日	調査研究機器調整航海	(1日間)
10月 26日	BISHOP 深海採水調査	(1日間)
10月 30日 ~ 10月 31日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

